

日本ステージ大阪製作部 安全環境のススメ【ホエクション編】



使う機会の多い電動工具をピックアップ致しました！是非ご参考に！
大阪製作部の頼れるアニキ西川 昌太郎さんに使用頻度の高い卓上スライド式丸鋸と電動丸鋸の
使用注意点を伺いました。

《卓上スライド式丸鋸の安全作業》

さて、皆様は卓上スライド式丸鋸で材料を切る時、よく刃が回転してから切っていますか？写真では少々分かりにくいのですが、刃が十分に回転していない状態で切ると断面がささくれ立ってしまいます。
この使い方をすると刃がすぐにダメになるだけでなく、材料を押さえていた手が衝撃で刃の所へ…なんて恐れがあります！刃をよく回転させた状態のまま下に降ろして切りましょう。



←急いで作業をしている時、安全カバーが出ていないのに刃の下に手をいれて材料を除けようとしていませんか？

右の写真のように刃を上げると自動的に安全カバーが出てきます。刃の下の材料等を除ける時は刃を上げきり安全カバーで刃が覆われている状態を確認してからにしましょう。



長い材料を切る時は写真のように落ち止めの台を使用し、切断によってバランスを崩した材料の落下を防止します。

材料はしっかりと押さえて固定してから切る。

もし固定出来ていないと刃の回転する力にまけて材料ごと手が巻き込まれる恐れがあります。

《電動丸鋸の安全作業》

電動丸鋸は距離の長い物を切る時にとっても便利ですが正しい使い方をしないととても危険です。



この写真のように下に敷いた盤木の置いた場所が切断箇所から離れすぎている為、切断していく事でVの字になった切断箇所に刃が挟まり回転が不安定になり、急に勢いよく回りだした刃が跳ね返され、剥き出しに誤って刃に触れてしまい大けがに。最悪の場合、近くで作業している人も巻き添えになりかねません。電動丸鋸を使用する時は切った時の対象物のバランスを考慮した盤の置き方をしましょう。